

中部ESD拠点運営委員会（第29回）議事メモ

日 時 平成22年9月27日（木）17時00分～18時30分

場 所 中部大学名古屋キャンパス（6階大ホール）

出席者 竹内委員長、寺井、黒岩の各委員

事務局 永田、古澤、酒井、岡本

議 事

1. 報告事項

- ・「ESDの10年・地球市民フォーラム2010」参加の報告

9月10日立教大学にて開催された「ESDの10年・地球市民フォーラム2010」に中部ESD拠点から竹内委員長、古澤事務局員、鎌田可奈氏（中部大学2年生）が参加した旨が古澤事務局員および竹内委員長より報告された。

- フォーラムの分科会をRCEデリーと共に担当し、気候変動をテーマに議論を行った。
- 古澤事務局員からは、RCE中部の紹介と「気候変動と生物多様性」をテーマに、庄内川流域圏における生物多様性保全の取り組みなどを紹介した。
- 続いて竹内委員長が、「低炭素都市、名古屋戦略」と題して、名古屋における低炭素社会実現のためのシナリオを発表した。
- 最後に、鎌田可奈氏より、2010年2月にインドのニューデリーで開催された気候変動に関する若者会議に参加した経験を報告した。

2. 中部ESD拠点の活動について

① サイバー対話について

古澤事務局員よりサイバー対話事業の進捗が以下の通り報告された。

- 日本語のサイト「I-dialog」および英語のサイト「Cyber Dialogue」で種々議論を行っている。また、i-dialogを利用して、CBD市民ネットの各部会がポジションペーパーのまとめ作業などを行っている。
- 課題としては、アクセス数の問題や、CBD市民ネットのすべての部会が利用している状況ではない、などがあるが、COP10本番に向けてトピックは集まりつつある。

② 出展ブースについて

生物多様性交流フェアにおける出展ブースに関して、古澤事務局員が準備状況の説明と残された課題について報告し、それらの対応について種々議論された。

- ブースはRCEの国内連携ブースひとつと、中部ESD拠点のブースの計2コマを使用する。
- 国内連携ブースの展示パネルに関しては、9月10日の「ESDの10年・地球市民フォーラム2010」ですでに岡山や北九州のRCEなどから生物多様性に関するパネルの出展があり、それらは中部ESD拠点事務局へ送られてきている。

- 中部 ESD 拠点ブースの展示パネルに関しては、アンケート調査を兼ねて出展の呼びかけを協議会参加団体に行った結果、名古屋造形大学、中部大学、核融合科学研究所からパネル展示の申請を受けた。
- 中部大学からは、ブースの一日貸し切りの申し込みあり、10月25日に中部大学経営情報学部の伊藤ゼミが「中部大学 ESD エコマネーチーム」として参加を予定している。
- ブース内のパネル展示以外の出し物として、「地球のいのち、つないでパズル」と題して、生物多様性に関する巨大パズルを来場者と共に3週間かけて完成させる、という企画を準備している。地元のパズル製作会社から協賛を受け、定価の半額で作成していただけることとなった。原画は、JT生命誌研究館の「生命誌絵巻」を利用させていただくべく申請を行った。
- ブースの店番に関して、国内 RCE からは、RCE 北九州が10月18, 19, 20日の3日間で担当してくださることとなった。また、中部 ESD 拠点事務局としては、期間中11日間を担当し、アルバイトの学生を含め、店番を行う。
- その他の団体からの店番担当について、22日を名古屋大学が担当できる可能性があるという意見や、中部 ESD 拠点推進会議にも2日ほど担当していただけるように依頼することとした。

③ 国内 RCE 連携のフォーラムについて

国内 RCE 連携で実施するフォーラムに関して、古澤事務局員から進捗状況の報告があった後、内容に関して以下のように種々議論された。

- 国内 RCE 連携のフォーラムに関して、遠距離で顔を合わせて打合せができないこともあり、準備が遅れている。RCE 仙台広域圏の島野氏より、国内 RCE がペアで連携の可能性を探るという案が提示されている。事例発表の時間に関しても、遠方から参加する他の RCE のメンバーはある程度の発表時間を確保して欲しいという要望も出ている。フォーラムは「公開交流会」という位置づけで良いのではないかという意見も出ている（以上、古澤事務局員より報告）
- 生物多様性に関して、すでにパネルを作っている RCE は北九州と岡山大で、他の RCE の情報は無いので、ペアとして組むならいずれかではないか。
- 国内 RCE の連携のあり方は、ペア以外で組む可能性もあるのではないか。同じテーマで3つの RCE が連携したり、国内6つ全てで連携したい、という話があっても良いのではないか。
- ペアリングできる RCE（仙台・横浜）には、それをひとつの問題提起としてプレゼンしていただければよいのでは。
- 中部 ESD 拠点では、COP10においてCBD市民ネットなどの他団体と横の連携ができた。RCE 以外の団体と芽生えた連携の可能性を発表しても良いのではないか。
- 中部 ESD 拠点としての事例紹介は、流域圏をテーマに諸団体に声をかけてはどうか。
- 小会場は、「生物多様性の10年」や「CEPA」、DESDの残り4年に関してなどで議論を。

3. 拠点総会

第4回中部 ESD 拠点総会に関して、11月20日（土）岐阜NPOセンター（岐阜県民ふれあい会館）にて開催することとした。

4. その他

- 1) 「志段味の里地を残す会」から中部 ESD 拠点協議会への参加申請が届いているため、メール審議にて承認の可否を決めることとした。
- 2) NPO 法人愛・地球プラットフォームから、「愛・地球市民会議 2010」イベントの後援名義依頼が届いているため、メール審議にて承認の可否を決めることとした。